

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・論述・面接試験 体験記

平成31年4月22日

2級受検番号 N015SJ00370

氏名 M.H

(大阪市在住)

■2級技能士を目指したきっかけ
私は、派遣会社に所属しており、営業（求人開拓）・スタッフフォロー・求職中スタッフへの仕事紹介・マッチングを行っております。同資格取得前は、就業中スタッフフォロー時にキャリアビジョンを考えアプローチすることやマッチング業務を行うにあたり人が職業を選択する際の思考などを考えず対応しており、数多くの意見やクレームを頂いておりました。自分なりに何か解決できる方法がないと模索した結果、この資格取得に辿り着きました。また入社して10年の節目を迎え、自身の能力を誇りたかったこと、所属している企業や国・世間から求められることを知りたかったこともあり資格取得を目指しました。
■当初の勉強法
学科と実技試験対策は、対策講座に通い身につけました。カウンセリングについては、実際に精神疾患を抱える方へ支援を行っている先生に指導を頂き、様々なことを学びました。
■合格のきっかけ
日頃から所属している企業にて様々な方と面談する機会があり、実践でも面談技術を向上できるよう勉強と実践を繰り返して参りました。求職中・就業中の派遣スタッフさんが、働く上でモチベーションが下がることやキャリアアンカーは人それぞれ様々で、実際に現場で起こっている問題の方が、問題解決に辿り着くケースが少なく、また気付きを与えるアプローチがとても難しく、2級の試験よりも現場で体験する問題の方が難しく感じております。
■学科試験の勉強
とにかく書いて頭に入れる作業を繰り返しました。幸いなことに現職で活かせる知識が多く、知識を増やすことにも役立ち、様々な場面で活かせることができました。
■論述試験対策
合格した方からの回答パターンを見て、型をまず叩き込みました。 論述は、学科・実技の勉強と並行して行わないと合格できないと感じております。
■面接試験対策
同じくキャリアコンサルティング技能検定2級の試験にチャレンジするメンバーにクライアント役をお願いし、ロールプレイングを重ねて参りました。また勉強していない現職の同僚にもクライアント役をお願いし、様々なパターンを練習して参りました。カウンセラーとしての役割を果たすことに徹すると共に理論立ててアプローチできるよう取り組みました。
■受検される方へメッセージ
私が所属している人材派遣業で業務に従事している方には、支援方法やアプローチ法が習得できるため、確実に問題解決に辿り着くための視野が広がります。また、同資格取得後現、管理職の役割を現職にて求められることになり、部下にも有用なアドバイスできるようになりました。会社での自身の地位・役割を果たすことに役立っています。また、営業先である法人企業にも有用なアドバイスができるようになります。何故か上手くいかない、一生懸命アプローチしていても解決に結びつかない方には是非この世界を知り、視野を広げ自信に繋げて欲しいと感じております。また社会的に求められている非正規社員の待遇改善、正規社員登用に向けた問題解決にも勉強したことを活かし、社会的責任を果たして参ります。